

日本医業経営コンサルタント協会第257回東京都支部理事会議事録

日 時 令和7年3月10日(火) 18時50分～19時30分

会 場 Web開催

出席者 支 部 長 眞鍋一 (順不同・敬称略)
副支部長 薄井照人 今村顕
理 事 佐藤由巳子 外山和也 永瀬隆之 森田仁計
横田克彦 吉崎隆 脇千香子
監 事 小野瀬由一 小林智之 12名

審議事項等

1. 支部総会の手続き及び日程について

支部長より、支部運営細則の改定に伴い、支部総会の手続きが変更となること及び、日程について説明があった。支部総会の通知について、従来は総会資料とともに通知を行っていたが、印刷・郵送コストの削減のため、ハガキによる通知とし、総会資料は協会会員ページから各自がダウンロードすること。出欠等の返答についても Web で行うことが説明されたほか、日程は5月12日(月)とし、承認された。なお、総会出席者で希望者には印刷した資料を用意することとした。

2. 東京大会準備委員会設置について

大会準備委員長より、東京大会準備委員会について、3名体制で作業が進めていることが報告された。大会テーマの募集状況について、提出されたテーマ案は評価項目に基づき支部長と協議の上、学会・学術委員会へ上程し、最終的には4月末の学会・学術委員会にて審議の上5月15日の定例理事会に上程する予定である。また、第1回実行委員会の開催調整状況について述べられ、実行委員会の会場はWeb会議となることが付け加えられた(後日、調整の結果、4月1日(火)15時から開催することとなった。)。東京大会の具体的な内容については実行委員会で検討を進める。なお、大会運営に関するアイデアとして、名刺サイズの案内、抄録のQRコード活用などの事例が紹介された。

3. 新入会員に対する個人情報保護研修について

支部長より、当初、新入会員を対象としていた個人情報保護研修について、知識を広く周知するため、ハイブリッド方式(会場と録画配信)で実施することとした。講師は個人情報の取扱いに関する有資格者であり、支部の個人情報保護部門管理者である辻氏が担当する。開催候補日は4月11日(木)または21日(月)の14時から2時間程度とし、会場は協会本部会議室の利用を予定していることが説明され、承認された。

4. その他

広報戦略委員会より、委員補充を予定しており承認を得たい旨の申し出があり、当該委員に関する資料を付したうえで、書面審議を行うこととした。

報告事項等

1. 支部理事会、地区協議会日程について

支部長より、次年度の支部理事会、地区協議会の開催日程について説明があった。

2. 本部常任委員会報告

各種委員より、次の事項について報告があった。

1) 財務委員会

令和7年度委員会予算案について、会員増強個別申請に関する減額分を含む前年度比で減額した予算として上程し、理事会で承認されたこと及び、特定目的の積立金が目的達成により今期決算で取り崩されることが報告された。

2) 広報委員会

機関誌 JAHMC に関するアンケートを会員と支部長向けに実施予定であることが報告された。会員向けには5段階評価と記述式の改善点を求める形式で、配布方法の希望も調査し、支部長に対しては追加配布の意義や活用状況を確認する。また、JAHMCの社名刷り込み版の作成が了承されたほか、経費節減のため執筆者・取材者へのPDF版配信への切り替えとなる。戦略的広報活動として、DX化やメディア戦略、会員増強などが継続検討となったことが報告された。

3) 調査研究・提言委員会

前回地区協議会後の第3回、第4回委員会について報告があった。令和7年度事業計画案と予算案では、専門分科会の活動や医療DX専門分科会の新設、医業経営相談の見直しなどが主な変更点として挙げられた。協会資料の使用許可に関する審議状況や、今後のルール策定に関するほか、各専門分科会の活動状況（歯科経営、情報活用、在宅医療・介護、医療DX）と来年度の委員選任についても報告があった。医業経営相談サービス終了後の対応内容を含むウェブサイト掲載文言についても協議を行い決定されたことが報告された。

4) 事業連携センター（コンサルプラス）

第3回会議（1月10日）の内容が報告された。アクセス数増加のためのコラム作成の呼びかけや、学会等のイベントでの周知活動の継続が確認された。新入会員向けのオンラインセミナー兼交流会が5月9日に開催される予定。新潟大会でのコンサルプラス周知施策の振り返りとして、目標を上回る登録があったことも報告された。

5) 教育研修委員会

第5回委員会（1月29日）の内容が報告された。収録講義のプログラムや講師、講師の採用基準（選定指針）、医業経営実務講座、新入会員研修のプログラム（会員交流会も開催）、継続研修実施申請の承認、継続研修運用方針の承認、会員からの履修申請の承認などが報告された。医業経営管理能力検定の進捗状況も報告された。

6) 総務委員会

各地区協議会及び支部の令和7年度事業計画案を確認し、会員への公開の必要性について業務執行会議に付託したことが報告された。また、賛助会員懇談会について継続審議にするほか、育児・介護休業法の改正に伴う関連規定の改定の承認に関連し、「くるみん認定」「トモニ登録」を要望する意見があった。休止者等の条件緩和については、有効期限無期限の恩恵者が少ないことや個人情報管理の問題から、期限を3年程度とする方向で継続審議とし、デジタル会員証についても運用や業務負担、費用等を考慮し継続審議となったことが報告された。

7) 学会学術委員会

新潟大会アンケート結果を報告し、参加者の属性データが示された。香川大会の進捗状況が共有され、2026年10～11月開催予定の東京大会について、会場調整や実行委員の構成、テーマ検討状況が報告された。また、第75回日本病院学会（長崎）に関する公募結果について、演者が決定したことが報告された。

3. 支部委員会等報告

1) 広報戦略委員会

委員長業務の引継ぎ、パンフレット及びホームページ制作について報告があった。また、業務に関し、協会本部との調整、ホームページのリアルタイム配信の重要性などの説明があったほか、支部総会、東京大会についても対応を検討していることが述べられ、委員補充についても進めていることが報告された。企画委員会との連携について説明があり、企画委員会と合同会議を近々開催する予定であることが報告された。

2) 会員支援委員会

支部活性化のための意見交換の場を設ける予定であることが報告された。10名程度の会員を選抜し、3月17日に開催する。なお、委員の構成に関し、メンバーを固定しない委員枠の承認について要望が挙げられた。

3) 企画委員会

研修の開催状況について報告があった。全9回中7回目までの開催実績の報告があり、アンケート結果については全セミナー終了後に報告することが述べられた。

4) 総務委員会

本日の理事会開催にあたり、議案及び資料の確認を行ったほか、前回理事会の議事録を作成し、提出済みであることが報告された。

小林監事より次の意見が述べられた

支部総会の手続きについて、規程に基づく手続き、日程で実施することの確認があった。

小野瀬監事より次の意見が述べられた

1年間活動してきた成果として形が見えてきた印象であるとのコメントがあった。また、研修に関し、せつかくの内容であるから、履修認定を得られる研修にするなど、より多くの会員に伝わる工夫をして欲しいとの意見が述べられた。なお、今回の研修は会員増員のための無料研修であったため履修認定としていない旨の説明が加えられた。

以上

議事録署名人	議事録署名人
3月21日	3月27日
	